

「障がい者の消費行動と消費者トラブル」啓発出前講座実践事例集（概要）

平成29年度から実施している、徳島県と岡山県を調査フィールドとした「障がい者の消費行動と消費者トラブルに関する調査」の一環として、「障がい者の消費行動と消費者トラブル事例集」を活用した障がい者本人及び支援者等向けの啓発出前講座（以下「講座」といいます。）を令和元年度に実施しました。

本実践事例集は、地方公共団体や関係団体等が講座の企画・実施の際に参考にできるよう、講座の事例をまとめたものです。

事例集の主な内容

■ 「障がい者の消費行動と消費者トラブル事例集」について

障がい者の消費行動の特性や消費者トラブル等についてまとめた「障がい者の消費行動と消費者トラブル事例集」（令和元年5月公表）について紹介しています。

https://www.caa.go.jp/future/project/project_009/

■ 事例集を用いた講座について

上記の事例集を用いた障がい者本人及び支援者等に向けた講座を行うに当たって必要な事前準備や障がいの種類等を踏まえた留意事項、講座での心掛け等について説明しています。

※講座実施に当たっては、公的機関の最新の情報を踏まえて、新型コロナウイルス感染症等への対策を行いましょ。本文の2P～3Pも参考にしてください。

■ 講座レポート

令和元年度に事例集を用いて徳島県や岡山県で実施した講座の報告をまとめています。プログラムや留意点等も記載しており、講座を実際に企画するときの参考例となるよう説明しています。

■ 資料集

事例集の抜粋や国民生活センターの「見守り新鮮情報」等、講座で活用できる資料を巻末にまとめて掲載しています。

紹介している講座の例

対象：障がい者本人及び支援者

時間：90～120分程度の時間がある場合

人数：数名～20人程度

座席：グループワーキングの場合は、講座開始時からアイランド形式（島型）が良い

00分 消費者行政新未来創造オフィス紹介、自己紹介 等（5分）

05分 事例紹介（20分）

事例集から、2事例を（1事例10分程度×2）紹介する。

①4コマを見ながら事例の概要を説明

②解決策・解説

25分 グループワーキング（35分）※机の移動時間等5分程度を含む

4～6人のグループを作り、意見交換を行う。

議題は以下の2つ（1議題15分程度×2）

①身近に起きた消費者トラブル

②消費者トラブルの解決策・未然防止策について

60分 消費生活センターについて（10分）

70分 消費者ホットライン

「188」について（5分）

75分 講座アンケート回答時間（5分）

80分 質疑応答（10分）

90分 終了

